

島根大学における節電の取組実行計画(夏季)

1. 節電基本方針

島根大学は、今夏の電力需給対策として、文部科学省の示す「夏季の省エネルギーの取組について(依頼)」を踏まえ、今まで省エネに取り組んできた実績をもとに、電力量を前年度同程度に維持するため、学生・教職員が一丸となって、電力使用量の抑制に計画的かつ積極的に取り組む。

2. 節電目標

(1) 松江キャンパス

- ・電力使用量について、2018年度は前年度(2017)維持の削減目標を達成できた。今年度の実施期間(令和元年7月1日から令和元年9月30日)の目標は、気温が例年通りの可能性が高いという見通しがある上に、前年度に空調機器の一部を重油式から電気式に転換したことを踏まえ、前年度電力使用量以下を目指す。

(2) 出雲キャンパス

病院の機能の維持に支障が生じない範囲で、自主的に節電に取り組む。

3. 節電実行概要

- (1) 島根大学の学生・教職員は、節電目標を達成するため、自ら積極的に日常の節電に取り組む。
- (2) ホームページ、ポスター、学内放送等によって、節電実行期間中であることを広く周知し、理解を得ながら節電への取り組みを推進する。

4. 具体的な節電対策

(1) 空調設備

【対策】

- 1) クールビズの徹底、啓蒙強化
- 2) 室内温度管理の徹底 (28℃)
- 3) 使用していない室の空調停止
- 4) エアコンフィルターの定期的な清掃
- 5) ブラインド、カーテンの活用(日射対策)
- 6) サーキュレーターファン・扇風機の活用(室内温度ムラの解消)
- 7) サーバー室の適切な空調温度管理
- 8) 実験用低温室・恒温室の適切な空調温度管理

(2) 照明設備

【対策】

- 1) 執務室の照明を業務に支障のない範囲で消灯
- 2) 使用していない室の消灯
- 3) 昼休みの完全消灯
- 4) 蛍光灯の間引き点灯の実施

(3) OA機器設備等

【対 策】

- 1) 一定時間（会議，昼休みなど）席を離れるときは，パソコンの電源をこまめに切る
（特にディスプレイは要注意）
- 2) 電気ポット，コーヒーメーカー等の使用は極力控える
- 3) コピー機の省エネモード設定
- 4) 待機電力がある機器は元電源の停止 ※退勤時
- 5) 洗浄便座の温水・暖房機能の設定を下げ，不使用時は蓋を閉める
- 6) 自動販売機の消灯要請
- 7) 電子レンジ，冷蔵庫の集約化および使用停止

(4) 教育研究等

【対 策】

- 1) 実験用冷蔵庫・フリーザー・製氷器等の共同利用推奨
- 2) 実験用低温室・恒温室の共同利用推奨

使用最大電力量 3,012kWを超過する恐れがある場合（特に12時～15時）は，全学メールにて更なる節電要請を実施するとともに，下記に従い計画的に空調設備の停止を行う。

- 1) 教育・研究に支障の少ない部門より下記に従い順次空調停止する。
事務関係・・・・・・・・本部棟・学生センター・学生支援センター・図書館等
教養講義室関係・・・・大学ホール・教養1．2号館等
各学部等関係・・・・法文学部・教育学部・人間科学部・総合理工学部・
生物資源科学部等
- 2) 停止時は中央監視装置にて強制停止する。
強制停止が出来ない場所については電話連絡にて停止要請を行う。
- 3) 停止時間は30分以内とする。
- 4) 節電要請を実施した場合，メールにて学生・教職員等実施状況及び節電結果を周知する。

5. 今後の教育研究，職場環境改善のためのフォローアップについて

- (1) 本計画については，今後の節電見込みや社会情勢の変化に応じ，対策の追加・見直しの検討を行い周知することとする。
- (2) 本計画の実施期間終了後の省エネ・節電対策について引き続き確認する。また，今後，以下の内容による省エネ・節電対策を検討する。
 - 1) ホームページ・メール等による節電効果の【見える化】の実現
 - 2) 建物の外壁断熱，窓へ省エネガラス・日照調整フィルムの採用
 - 3) 照明のLED機器等更新
 - 4) 照明の個別スイッチ取り付けによる節電推進
 - 5) 空調効率を上げるためのサーキュレーション機器追加
 - 6) 旧式エアコンの更新
 - 7) 電力平準化対策を検討する

※平成30年度設備機器更新の実績として，人間科学部改修工事（LED照明31台），学生センター空調機更新（空調機11台），総合理工学部3号館空調改修（II期棟を重油式から電気式へ変更）を行った。